

平成 30 年 6 月 6 日

評価室

教教分離後の評価における基本的な考え方について

評価室において、教員の個人評価及び部局等における自己点検・評価（以下「部局等評価」という。）の実施体制について検討を行い、教教分離後の評価における基本的な考え方を以下のとおり整理した。

<平成 29 年度分（平成 30 年度実施）の評価>

- 教員の個人評価及び部局等評価は、各部局または関連する学系等に設置した評価委員会で実施する。
- 部局等評価の単位は以下の通り。

各学部・研究科	総合分析実験センター	産学・地域連携機構
全学教育機構	総合情報基盤センター	アドミッションセンター
附属図書館	低平地沿岸海域研究センター	キャリアセンター
美術館	地域学歴史文化研究センター	国際交流推進センター
保健管理センター	シンクロトロン光応用研究センター	
海洋エネルギー研究センター	肥前セラミック研究センター	

<平成 30 年度分（平成 31 年度実施）以降の評価>

教員の個人評価

- 教員の個人評価は、引き続き、教員の配置先部局等の単位で実施する。

学部・研究科の部局評価

- 部局等評価は、各部局または関連する学系等に設置した評価委員会で実施する。
- 部局等評価書に当たって、学部は対応する学系に属する全教員の個人評価書の提出を求めることができる。項目は、教育、研究、国際交流・社会貢献の 3 領域とし、各学部・研究科における自己点検・評価については、教育の領域は現況分析の項目に沿って、認証評価の基準を当てはめて作成し、研究の領域は現況分析の項目に沿って行う。
- 従来自己点検・評価の領域として設定されていた、組織運営及び施設の領域については、教育、研究等に関連して必要に応じて記載する。

各学部・研究科以外の部局等

- 部局等評価の単位は以下の通り。

全学教育機構	総合分析実験センター	リージョナル・イノベーションセンター
附属図書館	総合情報基盤センター	アドミッションセンター
美術館	地域学歴史文化研究センター	キャリアセンター
保健管理センター	シンクロトロン光応用研究センター	国際交流推進センター
海洋エネルギー研究センター	肥前セラミック研究センター	クリエイティブ・ラーニングセンター

- 部局等の自己点検・評価は、部局等の設置目的に応じた領域又は事項に関して自己点検・評価を行う。
- 部局等の自己点検・評価は、年次報告書等による報告・検証をもって自己点検・評価に代えることも可とする。（ただし、全学教育機構を除く）
- 全学教育機構の自己点検・評価は、教育の領域について、現況分析の項目に沿って、認証評価の基準を当てはめて作成する。

自己点検評価書の作成方針

- 自己点検・評価書の記載にあたっては、基本的には記述を中心とするが、項目の箇条書きやデータを示すことで説明が可能なものについては、項目やデータの提示でよいこととする。
- 法人評価の際の現況分析の単位は、教育に関しては各学部、各研究科及びクリエイティブ・ラーニングセンター、研究に関しては各学系（医学系を除く）、医学域及び海洋エネルギー研究センターとなることを想定（国立大学法人評価委員会へ要相談）。
- 認証評価は基準を満たしているかどうかの観点で評価されるが、現況分析は第2期中期目標期間終了時からの質の向上等の成果で評価されるため、自己点検・評価書の記載においてはその点に留意する。